

高松市内行進の最終日、元気に行進！

今日は医療生協デーになりました。カンパ 3,721 円

参加者累計 411 人

琴電円座駅には 30 分前から、医療生協の若い職員が集まり始めます。集合時間直前に着いた電車からも行進者が降り立ちました。出発式は医療生協公森理事が、平和行進は草の根の運動として世論を作る上で大きな意義があると強調し、高齢化した被爆者のことを気にかけてほしいと訴え、一方安倍首相は被爆者に「どこの国の総理か」といわれる始末で、トランプ大統領と相撲を見ている場合ではないと怒りを爆発。今日の行進頑張りましたと激励しました。

四国コースの行進横断幕、行進のぼり、ペナントの他各団体のぼりも次々と持ち手が決まり先頭は大窪寺で採火した「原爆の火」です。このコースは小学校が 2 校と中学校が 2 校、そして幼稚園が 1 園あり、音出しにも注意しながらの行進でした。行進への反応も、何かと家から出てきた方が会釈したり、犬の散歩のおじさんがにっこり。今回の行進音楽が「素敵で元気が出る」と公森理事からメールで感想をもらいました。休憩所で民医連労組から「冷菓」のお接待。予定どおりに無事『とうーちゃこ』（到着）しました。

初めて参加の感想

Dr.大内さん（30代・男性）

気候もよく歩きやすかった。行進の中で平和を考える機会があり大変良かった。

正岡さん（30代・女性）

平和の大切さはみんな思っていると思います。参加してよかった。

朝日さん（20代・女性）

こんなに長い距離を歩き、疲れましたが、それだけに達成感があります。



さあ頑張って出発！



終結地点